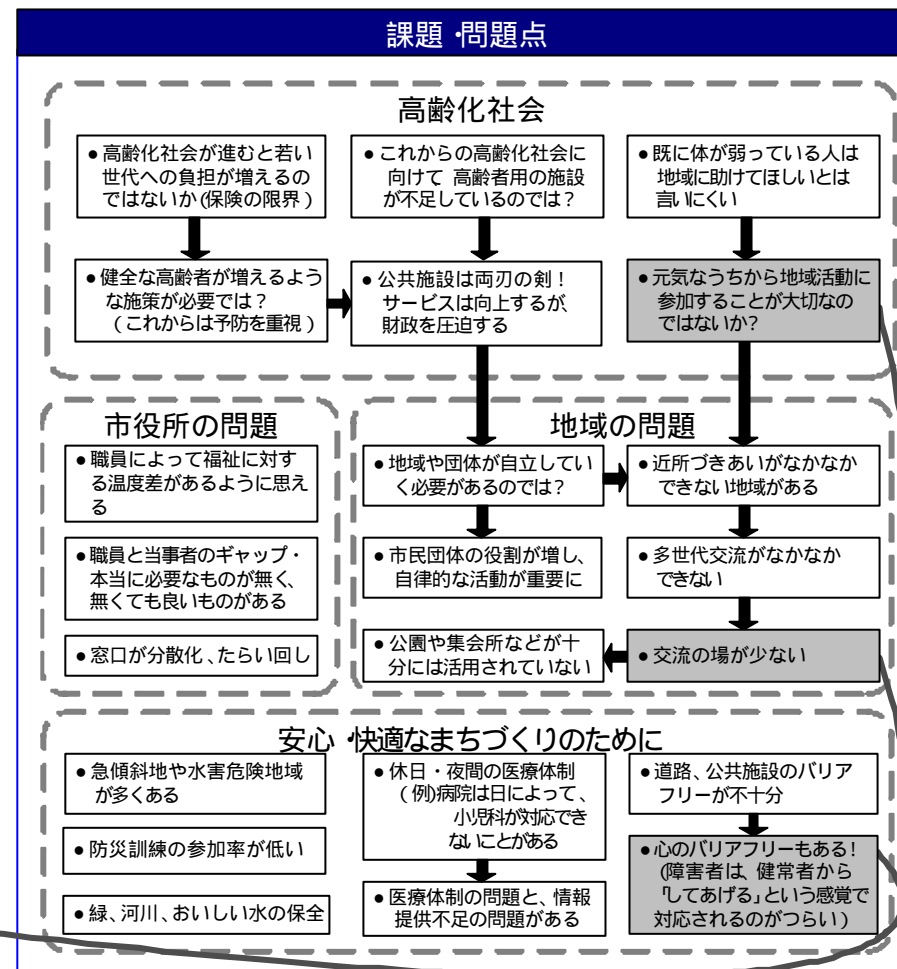
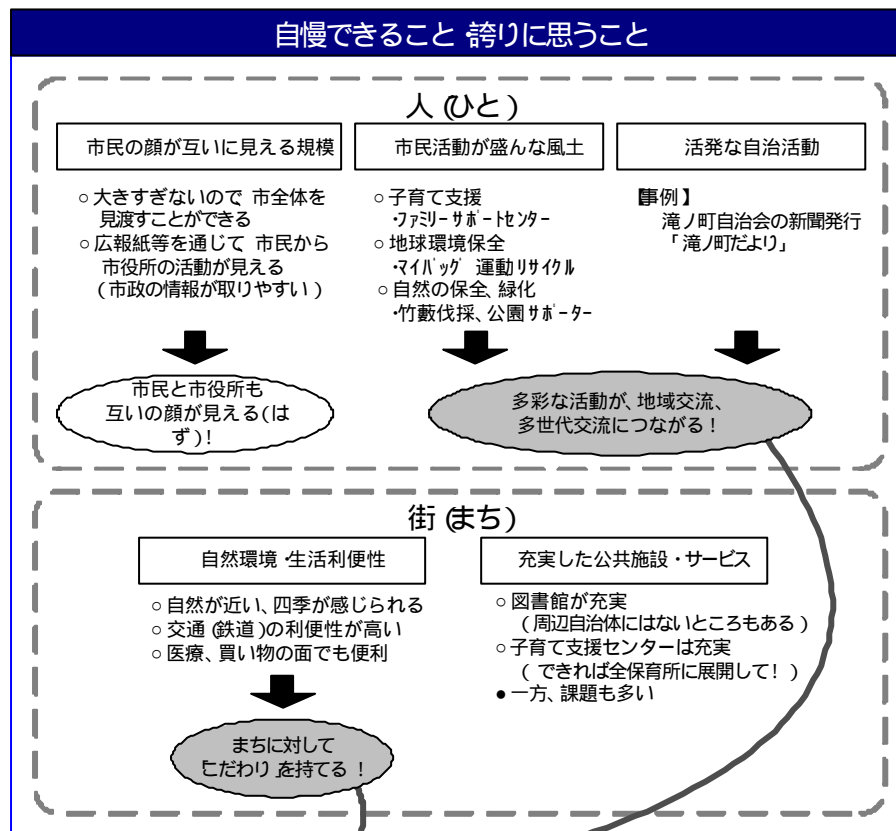


■ 1グループ ■ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

長岡京市が抱える問題と解決に向けての課題



これからの姿 … KEYWORD: 「地域における多世代(新旧)の交流」

乳児から高齢者 (障害者も) まで顔を知っている地域を!

・そのために集える場を !! ・多彩な市民活動を交流のきっかけに!

行政におんぶでだっこではあかん! (みんなうすうす気づいてる)

行政・地域・個人 の役割分担を考えよう!

■ 1グループ ■ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

まちづくりの方向性と施策のアイデア

テーマ	方向性（キャッチフレーズ）	施策アイデア	
地域で皆を支えるしくみ	ふれあいを通じて、顔の見える地域をつくる	■ 安心ネットとしての自治会機能の確立 - 自治会組成のメリットの再認識 - 日常、緊急時、災害時における自治会組織において自治会が果たす機能、役割を整理 → 市民に周知 - 先進自治会の取り組み紹介	■ 市内全域 全戸の自治会加入に向けて - 自治会未組成地域 非活動地域での組成支援 - マンション アパート居住者の自治会活動への誘引 - 若年夫婦層が入りやすい雰囲気をつくる → 「ふれあい」行事、パンフレットの作成・工夫
		■ 地域における「見守り」のしくみづくり 「してほしい人」「してあげたい人」のマッチング - ファミリーサポートセンターの充実 - ボランティア登録制度の創設 → 子育て以外の分野にも浸透 - 地域通貨（エコ・マネー等）の導入	■ 情報提供・相談のしくみの整備 - 校区単位での子育て相談員の設置（現在の民生委員等はうまく機能していない） - ホームページの充実 必要な情報を全て集約） 本当に必要としている市民が活用できるものを！
いざという時の安心のしくみ		■ 医療体制の充実 6歳未満の乳幼児医療（通院）への補助 - 休日 夜間診療の体制の構築（小児科、歯科、等） → ホームページ等による情報の集約・発信も	■ 緊急時（災害等）の体制づくり - 自主防災組織の組成 - 全戸連絡網の整備 実現のためには自治会組織の活性化が必須！
		■ 高齢者の健康づくり支援 - 介護や医療の負担を軽減するためにも健康づくりに注力する。 - 体力測定や健康プログラムの実施。 - 既存施設を活用した、健康づくり施設の整備。	■ 小規模・多機能型の高齢者福祉・介護施設を整備 - 中学校区ごとの整備が望ましい。 → コストが課題 既存施設の転用等の検討が必要
同世代 + 世代間の交流のしくみ	これまで「まちづくり」や「福祉」に参加できなかった世代の巻き込み	■ 交流の場を整える 60歳代の元気な高齢者や若者夫婦層、等の交流組織をつくる - 小学校の空き教室、公園、自治会館等の既存施設を活用・活性化による交流スペースの整備	■ 世代間交流の促進 - 子育て支援（ファミリーサポートセンター等）への高齢者の参加の促進 - 老人会と子供会の連携 - 子供も高齢者も参加する地域行事の開催
ハードとソフトのバリアフリーのしくみ	安心して歩けるまちづくり	■ 誰もが歩きやすい道づくり - 歩行者と自動車の分離 - 歩道の拡幅、段差解消（3 cmの段差がバリア） - 不法駐車・駐輪の解消（モラルの問題も）	■ 公共交通機関の整備 コミュニティバスによる市内全域のバス網整備
	心のバリアフリー	■ あらゆる層の顔がみえるように 各層をささげるバリアを取り除く つなぐしくみをつくる！	

■ 1グループ ■ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

これからの5年間に進めたい事業と市・地域・市民の役割

